

2017/4/20

(日々雑感 82)



とにかく自治会の仕事というのは、結構と言うか相当にというか、とても大変なことなの
分かって来ました。

自分は副会長でオマケに防犯部長なのですが、昼と言わず夜と言わずメールがドンドコ入
ってきて、下手すりゃ一日、自治会の分だけでも100本くらいになったりします。そのう
ち10本くらいは、直ぐに回答か回答案を出さなくてはならなかったりするのです。

この前も、自治会内で盗犯があり、その際の捜査協力の一環として防犯カメラの画像デー
タダウンロードの為に、全ての仕事をおっぽり出して、ノートパソコンを携行し、避難生活な
ので自治会地域外から電車に乗って、カメラの設置場所に駆けつけるような羽目になりま
した。

ルーティンとしては、防犯カメラ映像を、まず地元自治会「防犯カメラ操作責任者」のPC
にダウンロードし、それを所轄警察の刑事課盗犯係の刑事さんに渡して、解析するというふ
うになっているからです。

これは、先に述べた10本のメールの内の一つだったりするわけです。

無論、この際には自分一人の立ち会いではなく、会長さん、防犯特任役員さん、それと防犯
部女性役員さん達も立ち会います。プライバシー保護のために一人だけで勝手なことが出
来ないようにするためだからです。

そうして、10本のメールの次のアイテム。

今度は、その事件の自治会内告知のための回覧づくりと犯罪を未然に防ぐための防犯パト
ロール参加への自治会会員ボランティア募集のチラシ作りの為に、その後女性役員さん達
と近くのパン屋さんの飲食スペースでドリンクを飲みながらの企画会議とかをしたりする
のです。

面白いのは、この防犯カメラの下に集まった人たちの意識の差です。

会長と自分と防犯特任役員さんはみんな自分の会社を持っている経営者です。一方他の役
員さんは、勤め人か勤め人の奥さん方です。

特に会長さんは既にビジネスの世界に生きて50年。経営者になってから30年の大ベテランです。

一方他の役員さん達は、マネジメントという意味では、まだ1年目。実体は2週間目ではありません。

ところが、会長さんは、あまりそのことの差に気づかず、いきなりマネジメント歴30年のレベルをポットでの役員さん達に要求するから話が混乱してくるのです。

勤め人の、あるいはその奥さんの役員さん達は、それでも前向きに気持ちを整理して、自発的に参加してきたにもかかわらず

「なんだ、そりゃ、手めえ、それでもやる気あんのかよ。直ぐにやれ！早く持ってこい！そんなの「社会人として」あつたりまえだろうが！」

何て言われると、折角のやる気も萎えてしまい、萎えるだけならまだしも、

「何言ってるのよ。私はあんたの奥さんでも何でもないんだから、そこまでボカスカ言われる筋合いないわよ！ふん、もう辞めた！勝手にしなさいよ！」

となりかねないのです。

自分は経営者歴がまだ3年足らずで、勤め人歴が37年もあったので、まだまだ経営者としては未熟ですが、その分勤め人の気持ちも分かるのです。しかし会長さんは30年も経営者をやってこられたので、もう勤め人だった頃の自分の気持ちや感情を思い出せなくなってしまっているようなのです。

この調整が大変なのです。それが参謀で黒子で調整役サポート部隊の「副会長」である僕の役目なのです。裏方で自分を殺し、一步引き下がって目立ってはいけない役柄なのです。

会長さんには経営者の自分として話をし、役員さん達には勤め人の自分として話をします。そうして、時折それぞれに対して、その話し相手の逆の立場があることを具体的なたとえ話を用いて説得すると言うような日々の繰り返しなのです。夜と言わず昼と言わず、はたまたメールと言わず直談判と言わず、にです。

「会長、まずは僕に相談して下さい。いきなり役員に爆弾を投げつけないで下さいね。会長さんがあんまり爆弾を次々投げつけるもんだから、それを受け止めて爆発しないように信管を抜くだけで、手一杯になっているんですよ、ぼく。これじゃ部員（他の役員さん）と話をしたり指示を出したりする時間が取れなくなります。逆効果でしかありませんから、お願いだから静かにして、上の方で座って左うちわでも仰いでいて下さいよ」

とか

「ポットでのひとにいきなり50年ビジネスやった来た会長さんと同じレベルを求めるのは酷ですよ。入ってきた新入部員にいきなりオリンピックフィールドに立て！って言っているようなもんでしょう？そりゃ無理だって。50と1。この数字だけ頭に入れておいて下さいよ」

なんて言っているわけです。

無論奥さん方にも

「会長さんは経営者でしょう？経営者はああじゃないと生き残ってこれなかったんですよ。少なくとも今までの時代ではね。それにタダ熱心なだけで、人柄は決して悪くはないと思いますよ。結構お茶目なところもあるし・・・だから、まあ、あんまり怒らないで、まずは僕に相談を持ちかけて下さいね。」

とか。

おかげさまで、ぼくは今、自分の会社の仕事、完全にそっちのけ状態になってしまっています。家族の問題も棚上げ状態になっても居ます。

ますます寝る時間が減りました。おとといは、電車の中で、短い時間でしたが、幻覚が見えました。